



AQUA MARINA



INFLATABLE SPORT BOATS

User's Guide

Model: BT-88810, BT-88830, BT-88850WD, BT-88850AL
BT-06300WD, BT-06300AL, BT-06330WD, BT-06330AL



www.aquamarina.jp

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。



この度はアクアマリーナ製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。
ご使用頂く前に、下記チェックを必ず行って下さい。

ご使用頂く前に適正空気圧で膨らませ、破損（穴、破れ、変形）が無いかご確認下さい。

この段階で不良が確認された場合は初期不良として保証対応致しますので、購入した販売店へご連絡下さい。

※エアー漏れに関しては、1度でも使用された場合1年以内であっても保証対象外となります。（使用方法に問題があったのか、製品に問題があったのか判定する事ができないため）

この取扱説明書は、より安全に楽しく遊んで頂くために必ずお読み下さい。

使用上の注意

水に関しては必ずしも安全の保障はありません。ローカルルールの確認や技術の向上も必要です。必ず安全規則に従ってください。

スイマーやボート単独で行くべきでないところを把握し、指示をしてください。

所持者のお手元で安全に保管してください。

ハル識別番号の記録をしておいてください。

S/N.....

メーカー保証

本製品はISO（国際標準化機構）の制定した6185の規約に対応しています。

推奨

乗る際の総重量は、製品ごとに決まった限度を上回ることはできません。

仕様に関しては、ボートのラベルに記載されています。

Label format for boat

1 STANDARD EN ISO 6185:2018
DESIGN CATEGORY C
BOAT TYPE TYPE V

2 BOAT MODEL BT-88850

3 = 3 = 1

4 = 7 = 320 kg (705 lbs)

5 = 7.5 kw 9.9 HP

6 = 0.16 bar (2.32 psi)

7 S/N CN-ORP

DATE

N.W 33.5 kg (73.9 lbs)

ORIENTAL RECREATIONAL PRODUCTS (SHANGHAI) CO., LTD
NO. 1889 Da Ye Road, Fengqian, Shanghai, China
WWW.AQUAMARINA.COM MADE IN CHINA

Fig.1

1. 近海で航海のために設計されていて、大きな湾、河口、湖と川は、経験が必要となる場合があります。
2. 最大搭乗人数
3. 最大積載量
4. 最大モーターパワー（※日本国内では1.47KW/2HP(トランサムS)となります。）
5. 推奨空気圧
6. ハル識別番号
7. 製品重量

使用上の注意と警告

- ・ライフジャケットを着用してください
- ・ローカルルールに従ってください
- ・使用する1日前に、最大空気圧を確認してください
- ・子供が使わないようにしてください
- ・飲酒後には乗らないでください
- ・薬を飲んだ後も乗らないでください
- ・どんな状況でも搭乗人数を上回ってはいけません
- ・ボートをひとりでの流さないでください
- ・アクアマリーナ製ポンプのみを使用してください
- ・一人用の浮遊具として使わないでください
- ・居眠り操縦はしないでください

製品機能

仕様

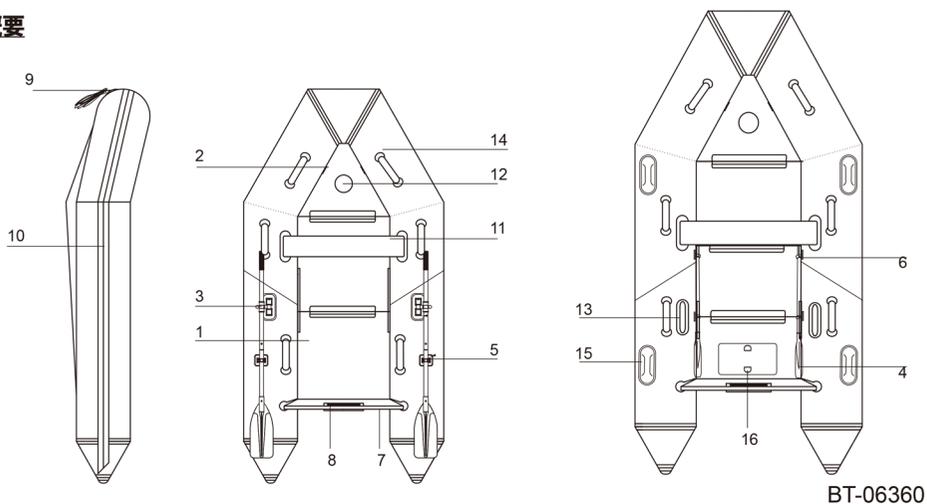
	区分	サイズ	空気圧	空気室	最大積載人数	最大有効荷重	最大モーターパワー	製品重量
BT-88810	C	8'2"×4'3" (2.5×1.29m)	0.16bar hull	3	2+1	240kg (529lbs)	2HP/ 1.47KW	25kg (55.1lbs)
BT-88830	C	8'2"×4'3" (2.5×1.29m)	0.16bar hull 0.04bar floor	3+1	2+1	240kg (529lbs)	2HP/ 1.47KW	21kg (46.3lbs)
BT-88850WD	C	9'1"× 4'11" (2.77×1.50m)	0.16bar hull 0.3bar keel	3+keel	3+1	320kg (705lbs)	2HP/ 1.47KW	33.5kg (73.9lbs)
BT-88850AL	C	9'1"× 4'11" (2.77×1.50m)	0.16bar hull 0.3bar keel	3+keel	3+1	320kg (705lbs)	2HP/ 1.47KW	35kg (77LBS)

	区分	サイズ	空気圧	空気室	最大積載人数	最大有効荷重	最大モーターパワー	製品重量
BT-06300WD	C	9'9"×5' (2.96×1.53m)	0.16bar hull 0.3bar keel	3+keel	4	360kg (794lbs)	2HP/ 1.47KW	39kg (85.8lbs)
BT-06300AL	C	9'9"×5' (2.96×1.53m)	0.16bar hull 0.3bar keel	3+keel	4	360kg (794lbs)	2HP/ 1.47KW	41kg (90.4lbs)
BT-06330WD	C	11'×5' (3.30×1.53m)	0.16bar hull 0.3bar keel	3+keel	5	480kg (1058lbs)	2HP/ 1.47KW	43kg (94.6lbs)
BT-06330AL	C	11'×5' (3.30×1.53m)	0.16bar hull 0.3bar keel	3+keel	5	480kg (1058lbs)	2HP/ 1.47KW	42kg (92.4lbs)

標準装備

モデル	ベンチシート	圧力ゲージ	ハンドポンプ	リペアキット	キャリアバッグ	アルミニウムオール
BT-88810 BT-88830 BT-88850WD BT-88850AL BT-06300WD BT-06300AL BT-06330WD BT-06330AL	1pc	1pc	16" hand pump	1pc (リペアパッチと 接着剤30ml)	1pc	1pair
BT-06360WD BT-06360AL			18" hand pump			

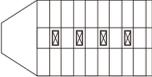
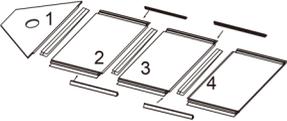
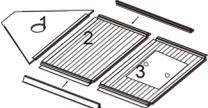
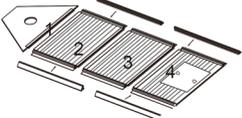
概要



こちらは説明目的の図面で、実際の製品とは異なります。

1	ボートデッキ	2	圧力バルブ
3	オールホルダー	4	アルミニウムオール
5	回転オール受け	6	オール用ベルクロ
7	トランサム	8	エンジンマウント
9	Dリング&トーイングロープ	10	ラブストレーキ (防舷材)
11	ベンチシート	12	膨張キール
13	シートコネクター (1 pair for BT-88810, BT-88830, BT-88850WD, BT-88850AL, BT-06300WD/AL, 2 pairs for BT-06330WD/AL)	14	セーフティグラブハンドル (2 pairs for BT-88810, BT-88830, 3 pairs for BT-88850WD, BT-88850AL BT-06300WD/AL, BT-06330WD/AL)
15	PVCリフトハンドル (1 pair for BT-06300WD/AL, BT-06330WD/AL)	16	タンク固定バンド (For BT-88850AL, BT-06300AL, BT-06330AL)

BOAT DECK:

デッキタイプ	図	モデル	デッキ	ストリンガー (床板固定具)
スラットウッドデッキ		BT-88810	5 pcs	
インフレーターデッキ		BT-88830		
ウッドデッキ		BT-88850WD	1 pc	
		BT-06300WD BT-06330WD	4 pcs	4pcs (A type for both sides) 3pcs("I" shape among decks)
アルミニウムデッキ		BT-88850AL	3 pcs	2pcs (A type for both sides)
		BT-06300AL BT-06330AL	4 pcs	4pcs (A type for both sides)

セットアップ指示

ボートの広げ方

ボートがすべて広げられる平らな場所で、ボートを広げて下さい



BT-88810 スラットフロアのセットアップ手順

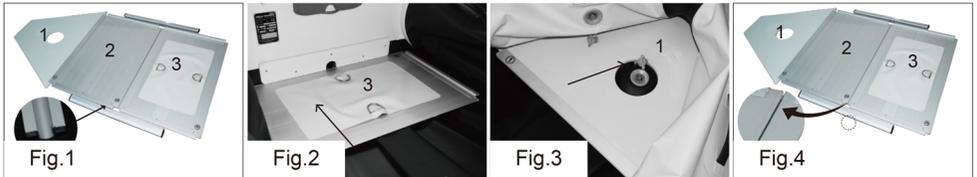
平らな場所を掃除してください。

外袋を取り除いて、ビニール袋をとってください。

本品はセットアップが最も簡単で、薄板は準備ができているため、少し広げたら空気を入れて下さい。

アルミフロアのセットアップ手順

1. BT-8850AL



1.1 床板のセットから作業は始まります。

エアーキールのバルブが板の穴に合わせられるまで、ボード#1を挿入してください。必要に応じてボートを持ち上げて下さい。(Fig.3)

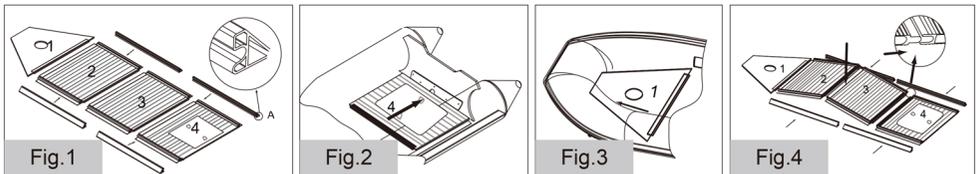
1.2 ボード#3を後部に挿入して、トランサムの下にフロアを押し込んで下さい。(Fig.2)

1.3 ボード#2とボード#1を押し込んで接続して下さい。(Fig.4)

1.4 ボード#2とボード#3の接続箇所を持ち上げ、屋根のような状態にし、溝に合わせてボード#2と#3を押し下げてください。(Fig.4)

1.5 決まった場所にしっかりと設置してください。(Fig.1)

BT-06300AL/BT-06330AL



2.1 床板のセットから作業は始まります。

エアーキールのバルブが板の穴に合わせられるまで、ボード#1を挿入してください。(Fig.1)

2.2 ボード#4を後部に挿入して、トランサムの下にフロアを押し込んで下さい。(Fig.2)

2.3 ボード#2とボード#1を接続してください。(Fig.4)

2.4 ボード#3とボード#4を接続してください。(Fig.4)

2.5 ボード#2と#3を持ち上げ屋根のような形にし、溝を合わせてからボード#2と#3を押し下げてください。(Fig.4)

2.6 決まった場所にしっかりと設置してください。(Fig.1)

- 床板は、ボートを膨らませる前にセットしましょう。
- 床板に貼ってある番号を上向きにセットしましょう。
- 手順完了後、床板がきつく固定されていることを慎重に確認してください。床板がきつくない場合は、手順をやり直してください。

アルミフロアーは20%ほど膨らませておく作業しやすいです。

a. 床 (Fig.1) の表の船首部を挿入してください。



Fig.1

b. 床 (Fig.2) の2つ目で最後のセクションを付け加えてください。



Fig.2

c. 中央のセクションを少し付け足し、屋根のような構造を作成してください。(Fig.3)



Fig.3

d. 2階部の高くなった部分を踏んで、その床がボート (Fig.4) の中に広がることによって平らになることを確認してください。

横のストリンガー (Fig.5) をつないでください。



Fig.4



Fig.5

- e. ボートの左右のチューブを膨らませて、それからボートの船首部を膨らませてください。
最後にキールを膨らませてください。
ハンドポンプを使って終わりです。

ウッドデッキの手順

1.BT-88850WD

BT-88850WDは、折り畳み可能な床板システムを備えています。(Fig.1)

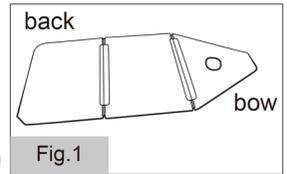


Fig.1

手順の前に20%ほど膨らませておくとう作業しやすいです。

a. 床板のセットから作業は始まります。

床板の先端が船首の先端に着くまで押し込んで下さい。エアーキールのバルブと床板の穴が合うまで(Fig.2)

b. 中央のセクションを、屋根のような形にしてください。(Fig.3)

c. 高くなった部分を踏んで、下に押し込んでください。

その床がボート (Fig.4) の中に広がることによって平らになることを確認してください。

d. ボートの左右のチューブを膨らませて、それからボートの船首部を膨らませてください。

最後にキールを膨らませてください。
ハンドポンプを使って終わりです。



Fig.2



Fig.3



Fig.4

2. BT-06300WD/BT-06330WD

2.1 床板のセットから作業は始まります。

床板の先端が船首の先端に着くまで押し込んで下さい。エアーキールのバルブと床板の穴が合うまで。(Fig.1)

2.2 ボード#4を後部から挿入して、トランサムの下に床板を押し込んで下さい。(Fig.2)

2.3 「J」型ストリンガーを挿入し、ボード#1を#2とつないで下さい。(Fig.3)

2.4 「J」型ストリンガーを挿入し、ボード#3を#4とつないで下さい。(Fig.4)

2.5 「J」型ストリンガーを挿入し、ボード#2を#3とつないで下さい。(Fig.4)

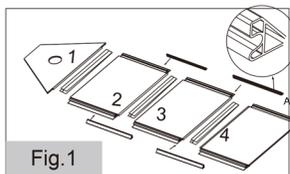


Fig.1

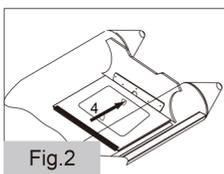


Fig.2

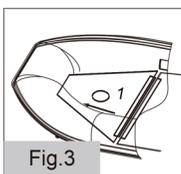


Fig.3

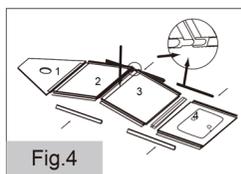


Fig.4

手順の前に20%ほど膨らませておくとより作業しやすいです。

a. 床 (Fig.1) の表の船首部を挿入して下さい。



Fig.1

b. 床 (Fig.2) の2つ目で最後のセクションを付け加えてください。



Fig.2



c. 中央のセクションを少し付け足し、屋根のような構造を作成して下さい。(Fig.3)



Fig.3

d. 高くなった部分を踏んで、その床がボート (Fig.4) の中に広がることによって平らになることを確認してください。



Fig.4

e. 横のストリンガー (Fig.5) をつないでください。



Fig.5

f. ボートの左右のチューブを膨らませて、それからボートの船首部を膨らませてください。
最後にキールを膨らませてください。
ハンドポンプを使って終わりです。(Fig.6)



Fig.6



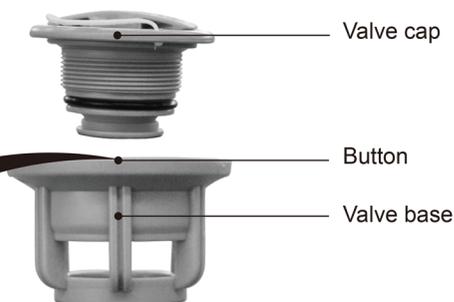
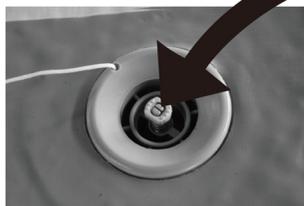
バルブの取り付け

下記はバルブの使用方法となります



空気を入れる際はバルブ中央にあるピンが上に出ているか確認してください。出ていない場合はセンターピンを下に押しながら時計周りと逆に回してください。ピンが上がってきます。

バルブ構造



空気を抜く際はセンターピンを下に押しながら時計回りに回してください。ロックします。

バルブ周辺の砂などは取り除いてから行って下さい。バルブに入ると空気漏れ等の原因になります。

必ずバルブカバーを閉めた状態でご使用ください。



膨らませ方

1. エアバルブの中心ピンを回して、バルブを開いて下さい。
空気を入れる間、漏れが出ないようにします。
2. ハルを膨らませて下さい。
膨らませたあと、気圧をチェックするために圧力計をバルブに挿入してください。
理想的な圧力は0.16bar — 0.25規定値です。(Fig.1)
3. エアーを充填させて下さい。(BT-88810,BT-88830に含まれる)
圧力が規定値内に達したら、膨らませるのを止めてください。(Fig.2)



Fig.1

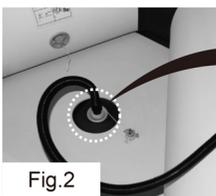


Fig.2



3. 床を膨らませて下さい。(BT-88830のみ)

膨張バルブの使い方

3.1 外部キャップを開けてください。(Fig.1)

3.2 適当なポンプのホースを挿入してください。

ホースを挿入して、空気を入れてください。(Fig.2)

3.3 ボートが完全に膨らんだら、アダプタースリーブからホースを抜き取ってください。(Fig.3)

3.4 完全にアダプターを取り外して、外部キャップを閉めてください。(Fig.4)



Fig.1

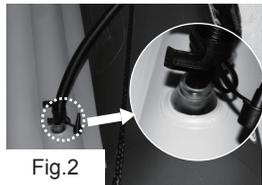


Fig.2

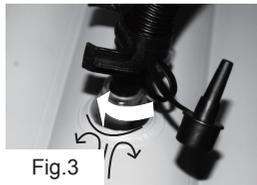


Fig.3

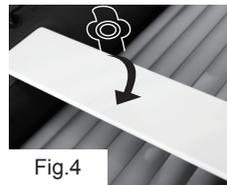


Fig.4

膨らませた後、ボートデッキの圧力が規定値内であることを確認してください。

使用の前に毎回、圧力をチェックしてください。

気温と気象状況は、使う製品の内部の気圧に影響を及ぼします。

気温が下がると空気が縮むため、若干の圧力を失います。

その場合空気を入れるべきだと思われるかもしれませんが、温かくなれば空気も膨張します。

製品が過度の圧力によって損傷するのを防ぐため、多少の空気は逃がしてください。

- ・アクアマリーナのポンプをご使用ください
- ・過度の膨張を防ぐため、モーター駆動高圧空気ポンプを決して使用しないでください
- ・過度の膨張は安全に危険を及ぼす場合があります
- ・常に使用前にはカヤックの空気状態を確認してください
- ・膨らませた状態のカヤックに物を立てかけたりしないでください
- ・使用時にバルブキャップの閉め忘れにご注意ください
- ・使用前にバルブをしっかりと閉めてください

アクセサリの組み立て

1. ベンチシートの取り付け

ボートについて両側の刻み目にフラップを挿入し装着してください。スイベルシート (B0301762) のようなオプションのアクセサリは、ベンチの上に設置ができます。

2. プラグをドレンバルブに挿入してください。

プラグがドレンバルブへ固定されることを確認し、水に浮かべている間は開かないでください。



船外機の取り付け

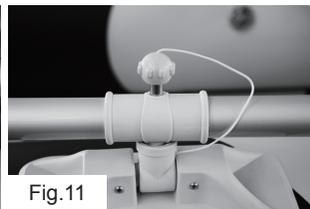
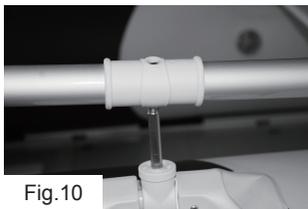
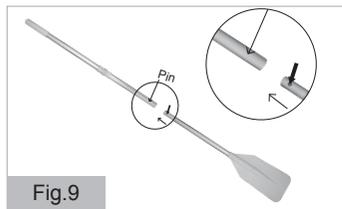
ボートが完全に膨らんで組み立てられたあと、エンジンマウントの上に船外機を付けてください。

モーターが常にトランサムに取り付けられることを確認してください。
正しい取り付けと作動のために船外機の取扱説明書を読んでください。

注意: 負荷をかけすぎると、ケガや死亡事故に繋がる場合があります。ラベルに記載されている最大モーターパワーをご確認ください。

オールアセンブリ取り付け

1. カプラーとオールの2本のシャフトを接続して、確実にカプラーカバーを締めてください。(Fig.9) 完全にシャフトをカプラーに挿入しなければ、損傷が起こる場合があります。
2. オールを回転オール受けにしっかり取り付けて下さい。(Fig.10,11) 使用していないときはオールホルダーに入れておいてください。



取り扱いと保管

最高の素材でできており、ISO6185の基準に従っています。

ボートの改造は安全を損ない、保証ができなくなります！

良い状態を保つのに必要なことは少しだけです。

- ・岸に着陸するとき、ボートを引きずらないでください。
砂地や地面に擦れて、破損の恐れがあります。
- ・牽引リングを使う際、損傷が起こる場合があるのでゆっくり牽引してください。
- ・ボートで遊んだ後は、砂や海水、日光のダメージを防ぐためきれいにしましょう。
ひどい汚れはホースとスポンジ、石鹸を使って取り除きましょう。
完全に乾いたことを確かめてから保管してください。
できるだけきれいなところで、できるだけ少ない薬品を使用し、不要なものは使わずに洗ってください。

- ・完全に乾いてから保管してください。
- ・膨らませたまま保管はできるかもしれませんが、重いものや尖ったものは置かず、また立てかけることも推奨しません。
- ・全てのバルブを開けたらボートは完全に萎みます。座席やオール等に取り付けたアクセサリは取り外してください。
- ・残った空気を抜きながら、ボートの船首から船尾を合わせて畳むのを二度繰り返してください。キャリアバッグ等での保管は最小限のサイズで収納できるようになっています。下の図を見ながら手順を進めて下さい。



1



2



3

4



- ・乾燥したところで保管するのが最適です。
ネズミなどの動物がボートをかじることがあるので、しっかり保護してください。
- ・0℃～40℃の乾燥した場所で保管してください。

空気漏れと修理

空気漏れ箇所を見つける方法

空気を入れた直後よりも船体が柔らかくなったと感じた場合、空気漏れが発生している可能性があります。以下の手順に従って確認してください。

1. バルブ周辺に砂やゴミがないか確認してください。
2. バルブがしっかりとかみ合っていることを確認してください。
3. すべての気室を膨らませてください。
4. すべてのバルブキャップを閉じてください。
5. バルブを含め、カヤックを水で薄めた中性洗剤できれいに洗ってください。
6. ぶくぶくと気泡ができる部分があれば、そこから空気が漏れています。空気漏れの箇所が分かたら、補修キットを使って修理しましょう。

パッチを使った修理

小さな傷や穴は、付属のリペアパッチで修復することができます。

1. まずは商品を乾かしてから、空気を抜いてください。
2. 補修生地の一部を切り修理箇所全体を覆うサイズ(剥がれにくくするため角のない丸い形で、傷よりも1.5倍程余裕を見たサイズ)にカットしてください。
3. 補修生地を貼り付ける部分がしっかり乾いていることを確認してください。
4. 接着剤を補修生地、本体側両方へ塗ってください。接着剤は付属しません。ウレタン系接着剤をご用意下さい。
5. 2~3分べたつきがなくなるまで乾かしてください。
6. 補修生地を指で押さえて貼り、全体に圧力がかかるように端までしっかりと押してください。
7. その後12時間以上空けてから膨らませ、修理が出来ているか確認してください。

大きな傷や穴は修理が出来ないことがあります。専門の修理工場等へ相談してください。

製品保証

製品の保証は1年です。(この期間中は製品の欠陥を保証しますが、保証対象外となる場合もございます。)

ご使用頂く前に適正空気圧で膨らませ、破損（穴、破れ、変形）が無いかご確認下さい。

この段階で不良が確認された場合は初期不良として保証対応致しますので、購入した販売店へご連絡下さい。

※エア漏れに関しては、1度でも使用された場合1年以内であっても保証対象外となります。(使用方法に問題があったのか、製品に問題があったのか判定する事ができないため)

製品のクレーム判断はメーカーが行います。判定のために不具合部分の写真、又は製品の返送を依頼する場合があります。

ご協力頂けない場合は保証できない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

製品に不具合があると判断した場合は、修理または製品交換で対応致します。

製品の不具合によって発生した直接的または間接的な損害、2次的な損害に対する補償は致しかねます。

本保証は、事故（衝突、火事、洪水、暴風、凍結またはその他の自然災害を含む）、乱用、誤った使用、不適切な使用などによって起因する損害については保証致しません。

メーカー推奨積載量を超えて使用した場合は保証対象外となります。

修理歴がある場合は保証対象外となります。

購入者様本人のみ製品保証の対象者となります。

本保証書に掲げた規定以外で、別段の法律あるいは規定で定める明示的または黙示的事項については保証致しません。

かかる唯一の賠償責任は、本保証書に規定された内容のみです。



正しい取扱いをしなければ、事故やケガ、最悪の場合死に至る危険がございますので、充分注意して取り扱いをしてください。